

ADVANレーシングタイヤインフォメーション

2010年 SUPERGTシリーズ第8戦

2010.10.24

MOTEGI GT 250km RACE



横浜ゴム(株)は、フラッグシップ・ブランド「ADVAN」の性能訴求及び企業イメージの向上として、2010年も国内のみならず、海外へも積極的にモータースポーツを支援している。その活動のひとつであるのが、SUPER GTシリーズ。日本で最も高い人気とハイコンペティションを誇るレースに、ADVANはGT500クラスにおいて、近藤真彦監督率いるKONDO RACINGとのパートナーシップを2010年も継続している。HIS ADVAN KONDO GT-Rを駆るのは、ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラと安田裕信のタッグ。最終戦を制して、有終の美を飾ることを目標とする。

激戦を繰り返してきたSUPER GTシリーズも、いよいよツインリンクもてぎで最終戦を迎える。今回のレース距離は250kmと普段のレースより短く、なおかつ一戦も欠場なく参戦してきた車両に対し、ウエイトハンデがリセットされる。つまり、GT500クラスは全車が重量に関して、同一の条件となる。同じように全車ノーハンデ状態の開幕戦を制している、HIS ADVAN KONDO GT-Rにとっては、まさに狙い目のレースであるのだが……。

ご存知のとおり、本来富士スピードウェイで行われるはずだった第7戦が、台風の影響を受けて中止に。被害の大きさを思えば、やむを得ない決断ではあったものの、ランキングトップとの差が21ポイントのHIS ADVAN KONDO GT-Rから、チャンピオン獲得の権利が喪失してしまったのは残念でならない。しかし、気を引き締め、切り替えられたターゲットは2勝目を挙げることで、すなわち今季最多勝の獲得に。そこで

万全を期すため、タイヤにはいくつかの改良を施している。

レース距離が短く、またストップ&ゴーが繰り返され、また路面のμも低いもてぎでのレースでは、予選でまず上位につけることが必須条件。そこでグリップパフォーマンスを高めるとともに、前後バランスの見直しをはかっている。特に配慮されたのは、ブレーキング時の安定性だ。また、これまでのレースとは異なり、大幅に下がるであろう気温、路面温度への対応も怠っていない。そのあたりは10月6～7日に行われたテストでも確認済。期待は大いに高められた。

一方、GT300クラスでは、ADVANユーザー4チームにチャンピオン獲得の権利が残されている。他にライバルは、トップを含む2チーム。6ポイント差で谷口信輝/折田遼組のM7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC7、11ポイント差で星野一樹/柳田真孝組のTOMICA Z、12ポイント差で横溝直輝/阿部翼組のアップスタートMOLA Z、そして20ポイント差で加藤寛規/濱口弘組のアップル・K-one・紫電がトップを追いかける。



チャンピオン候補のADVANユーザー4チームが勝つのは、コースとの相性、過去のデータからすれば決して不可能ではない。しかし、問題はトップを含めたライバルとの間に何台を挟むか。そのためにも、権利を持たない

ADVANユーザーも含めた、上位独占が最大のテーマとなる。

そこで今回のタイヤチョイスに際しては、基本スペックこそ従来どおりであるものの、よりパフォーマンスが高く、トラクションやブレーキング性能に優れることが重視されている。

また、今回のレースには別項でも紹介されているとおり、ADVANのGTIにおける選手権レース通算100勝の期待も込められている。両クラス制覇によって、気持ち良くシーズンを終えたいところだ。



2010年 SUPERGTシリーズ第8戦用ADVANタイヤラインアップ

		GT500	GT300
ドライ用スリック	構造	1種類	1種類
	コンパウンド	2種類 (S, MS)	2種類 (SS, S)
	サイズ	Fr 330/710R18, Rr 330/710R17	330/710R18, 280/710R18, 280/680R18, 280/650R18
ウエット用レイン	構造	1種類	1種類
	コンパウンド	2種類 (S, M)	2種類 (S, M)
	サイズ	Fr 330/710R18, Rr 330/710R17	330/710R18, 280/710R18, 280/680R18, 280/650R18

ADVAN通算100勝に、あとわずか!

1994年に全日本GT選手権としてスタートを切り、2005年からはSUPER GTに。今や歴史の重みさえ感じさせるようになったシリーズに、ADVANは絶えず参戦し続けて、タイヤをユーザーに供給し、サポートを行ってきた。17年もの間、ライバルとともに激戦を繰り広げてきた結果、積み重ねてきた選手権レースでの勝利は「98」にも! 早ければ、今回にも100勝目が記されることとなった。

なお、オールスターなど特別戦を含めた優勝回数では、すでに「100」を突破。GT500/GT300両クラス制覇を遂げた今季開幕戦で、最初の金字塔が打ち立てられている。



■1994年

優勝回数	ラウンド	コース	車両名称	ADドライバー/Bドライバー	車種
1	Rd. 3	富士	タイサンスターカード962C	A. レイド/近藤 真彦	ボルシェ962C
2			欧州車販売の外国屋スカイライン	石橋 義三/水野 文則	スカイラインRS (HR31)
3	Rd. 4	SUGO	ADVAN PORSCHE	高橋 国光/土屋 圭市	ボルシェ911ターボ
4	Rd. 5	MINE	タイサンスターカード F40	太田 哲也/O. ラウワリ	フェラーリF40
5			IPF WAKO'S M3	牧口 規雄/岡本 幸夫	BMW M3

■1995年 [GT2クラス・ドライバーズチャンピオン] 石橋 義三/星野 薫

6	Rd. 1	鈴鹿	欧州車販売の外国屋スカイライン	石橋 義三/星野 薫	スカイラインRS (HR31)
7	Rd. 2	富士	タイサン ボルシェGT-2	松田 秀士/飯田 薫	ボルシェ993 GT2
8			欧州車販売の外国屋アドバン	石橋 義三/星野 薫	スカイラインGTS (HR31)
9	Rd. 3	仙台	RE SuperG RX7	竹内 浩典/松本 晴彦	RX-7
10	Rd. 4	富士	WAKO'S BMW M3	牧口 規雄/木下 隆之	BMW M3
11	Rd. 5	SUGO*	タイサンスターカード GT-2	A. レイド/近藤 真彦	ボルシェ911 GT2
12			ナインテンゲータレード ボルシェ	池谷 勝則/袖山 誠一	ボルシェ993

■1996年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 鈴木 恵一/新田 守男 *GT初のWETレース

13	Rd. 1	鈴鹿	タイサンボルシェRSR	鈴木 恵一/新田 守男	ボルシェ964 RSR
14	Rd. 2	富士	ナインテン ボルシェ	袖山 誠一/長坂 尚樹	ボルシェ964 RSR
15	Rd. 3	仙台	WAKO'S BMW M3	木下 隆之/牧口 規雄	BMW M3
16	Rd. 4	富士	ナインテン ボルシェ	袖山 誠一/長坂 尚樹	ボルシェ964 RSR
17	Rd. 5	SUGO	タイサンスターカードRSR	鈴木 恵一/新田 守男	ボルシェ964 RSR
18	Rd. 6	MINE	タイサンスターカードRSR	鈴木 恵一/新田 守男	ボルシェ964 RSR

■1997年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 織戸 学/福山 英朗

19	Rd. 1	鈴鹿	RS☆Rシルビア	織戸 学/福山 英朗	シルビア
20	Rd. 2	富士	デンソースーパーGT	谷川 達也/影山 正美	スーパー
21			タイサンスターカードRSR	鈴木 恵一/新田 守男	ボルシェ964 RSR
22	Rd. 3	仙台	つちやMR2	土屋 武士/長島 正典	MR2
23	Rd. 4	富士	デンソーサードスーパーGT	影山 正美/谷川 達也	スーパー
24			タイサンスターカードRSR	鈴木 恵一/新田 守男	ボルシェ964 RSR
25	Rd. 5	MINE	RS☆Rシルビア	織戸 学/福山 英朗	シルビア
(26) All Star①	もてぎ		TEAM FCJ フェラーリ	太田 哲也/A. オロフゾン	フェラーリF355
(27) All Star②	もてぎ		TEAM FCJ フェラーリ	太田 哲也/A. オロフゾン	フェラーリF355

■1998年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 鈴木 恵一/館 信吾

26(28)	Rd. 1	鈴鹿	つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2
27(29)	Rd. 3	仙台	つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2
28(30)	Rd. 4	富士	つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2
29(31)	Rd. 5	もてぎ	クスコスバルインプレッサ	小林 且雄/玉本 秀幸	インプレッサ
30(32)	Rd. 6	鈴鹿	つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2
31(33)	Rd. 7	SUGO	つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2
(34) All Star	TI		つちやMR2	鈴木 恵一/館 信吾	MR2

■1999年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 新田 守男

32(35)	Rd. 1	鈴鹿	ウェッズスポーツセリカ	織戸 学/原 貴彦	セリカ
33(36)	Rd. 2	富士	モモコルセ・アベックスMR2	新田 守男/高木 真一	MR2
34(37)	Rd. 3	SUGO	ザナヴィARTAシルビア	土屋 武士/井出 有治	シルビア
35(38)	Rd. 4	MINE	ザナヴィARTAシルビア	土屋 武士/井出 有治	シルビア
36(39)	Rd. 5	富士	STPアドバンタイサンGT3R	松田 秀士/D. シュワガー	ボルシェ911 GT3R
37(40)	Rd. 6	TI	ザナヴィARTAシルビア	土屋 武士/井出 有治	シルビア
38(41)	Rd. 7	もてぎ	STPアドバンタイサンGT3R	松田 秀士/D. シュワガー	ボルシェ911 GT3R
(42) All Star	AP		クスコスバルインプレッサ	小林 且雄/谷川 達也	インプレッサ

■2000年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 福山 英朗

39(43)	Rd. 1	もてぎ	シェルタイサン アドバンGT3R	松田 秀士/福山 英朗	ボルシェ911 GT3R
40(44)	Rd. 2	富士	シェルタイサン アドバンGT3R	松田 秀士/福山 英朗	ボルシェ911 GT3R
41(45)	Rd. 3	SUGO	ウェッズスポーツセリカ	脇坂 薫一/原 貴彦	セリカ
(46) Special Stage	セパン		RE 雨宮マツモトキヨシアRX7	山野 哲也/松本 晴彦	RX-7
42(47)	Rd. 4	富士	イクリプスRDタイサンGT3R	須賀 宏明/柴原 真介	ボルシェ911 GT3R
43(48)	Rd. 5	TI	ナインテンゲータレードボルシェ	余郷 敦/和田 久	ボルシェ911 GT3R
44(49)	Rd. 6	MINE	シェルタイサン アドバンGT3R	松田 秀士/福山 英朗	ボルシェ911 GT3R
45(50)	Rd. 7	鈴鹿	スーパーオートバックスアベックスMR-S	新田 守男/高木 真一	MR-S

■2001年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 大八木 信行/青木 孝行

46(51)	Rd. 1	TI	ARTA・アベックスMR-S	新田 守男/高木 真一	MR-S
47(52)	Rd. 2	富士	ダイシンADVAN シルビア	大八木 信行/青木 孝行	シルビア
48(53)	Rd. 3	SUGO	雨宮マツモトキヨシアBARX7	山野 哲也/松本 晴彦	RX-7
(54) Special Stage	セパン		ユニシアジェックスシルビア	井出 有治/柳田 真孝	シルビア
49(55)	Rd. 4	富士	ダイシンADVAN シルビア	大八木 信行/青木 孝行	シルビア
50(56)	Rd. 5	もてぎ	ウェッズスポーツMR-S	田中 実/後藤 聡	MR-S
51(57)	Rd. 7	MINE	シグマMR-S	Guts 城内/田嶋 幸一	MR-S

■ GT1 (1994~95)、GT500 (1996~)

※「優勝回数」欄のカッコ内表記は、オールスター戦や特別戦を含めたシリーズ戦の通算回数。

富士:富士スピードウェイ/SUGO:スポーツランドSUGO/MINE:MINEサーキット/鈴鹿:鈴鹿サーキット/仙台:仙台ハイランドレースウェイ/もてぎ:ツインリンクもてぎ/TI:TIサーキット・英田/AP:オートポリス/セパン:セパンサーキット/岡山:岡山国際サーキット

■2002年

52(58)	Rd. 3	SUGO	ユニシアジェックスシルビア	山野 哲也/柳田 真孝	シルビア
53(59)	Rd. 4	セパン	雨宮マツモトキヨシアBARX7	松本 晴彦/谷口 信輝	RX-7
54(60)	Rd. 5	富士	Endlessタイサン アドバンGT3R	福山 英朗/木下 みつひろ	ボルシェ911 GT3R
55(61)	Rd. 8	鈴鹿	ダイシンADVAN シルビア	大八木 信行/青木 孝行	シルビア

■2003年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 木下 みつひろ/柳田 真孝

56(62)	Rd. 1	TI	Endlessタイサン アドバンGT3R	余郷 敦/浅井 亮博	ボルシェ911 GT3R
57(63)	Rd. 2	富士	PLUS e タイサン アドバンGT3R	山路 慎一/西澤 和之	ボルシェ911 GT3R
58(64)	Rd. 4	富士	ECLIPSE タイサン ADVAN ハイパー	木下 隆之/山田 英二	ハイパー
59(65)	Rd. 5	富士	ウェッズスポーツCELICA	青木 孝行/田中 実	セリカ
60(66)	Rd. 7	AP	デンソーサードスーパーGT	D. シュワガー/織戸 学	スーパー
61(67)	Rd. 8	鈴鹿	ウェッズスポーツCELICA	青木 孝行/田中 実	セリカ

■2004年

62(68)	Rd. 1	TI	JIM Gainer アドバンF360	田中 哲也/余郷 敦	フェラーリF360
63(69)	Rd. 2	SUGO	ウェッズスポーツセリカ	青木 孝行/谷口 信輝	セリカ
64(70)	Rd. 3	セパン	雨宮アスバラドリンクRX7	山路 慎一/井入 宏之	RX-7
65(71)	Rd. 6	AP	雨宮アスバラドリンクRX7	山路 慎一/井入 宏之	RX-7

■2005年

66(72)	Rd. 1	岡山	ECLIPSE ADVAN スーパー	織戸 学/D. シュワガー	スーパー
67(73)			エンドレス アドバン Z	木下 みつひろ/影山 正美	フェアレディZ
68(74)	Rd. 5	もてぎ	Dream Cube's ADVAN Z	星野 一樹/青木 孝行	フェアレディZ

■2006年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 山野 哲也/井入 宏之

69(75)	Rd. 1	鈴鹿	アクティオ ムルシエ RG-1	M. アビテラ/松井 保寿	ムルシエラゴ
70(76)	Rd. 2	岡山	密山 祥吾/谷口 信輝	密山 祥吾/谷口 信輝	ウィーマック320R
71(77)	Rd. 3	富士	WILLCOM ADVAN VEMAC408R	柴原 真介/八木 宏之	ウィーマック408R
72(78)	Rd. 4	セパン	雨宮アスバラドリンクRX7	山野 哲也/井入 宏之	RX-7
73(79)	Rd. 8	AP	ブリグヴェチュールッピ・紫電	高橋 一穂/加藤 寛規	紫電

■2007年

74(80)	Rd. 1	鈴鹿	エンドレスアドバン洗剤革命 Z	影山 正美/藤井 誠輔	フェアレディZ
75(81)	Rd. 4	セパン	WOODONE ADVAN Clarion Z	J.P. テオリベira/荒聖治	フェアレディZ
76(82)	Rd. 5	SUGO	ウェッズスポーツセリカ	飯田 章/関口 雄飛	セリカ
77(83)	Rd. 6	鈴鹿	ブリグヴェKENZOアセット・紫電	高橋 一穂/加藤 寛規/吉本 大樹	紫電
78(84)	Rd. 7	もてぎ	ユニケルパワータイサンボルシェ	谷口 信輝/D. ファーンバッハー	ボルシェ911 GT3
79(85)	Rd. 8	AP	WILLCOM ADVAN VEMAC408R	柴原 真介/黒澤 治樹	ウィーマック408R
80(86)	Rd. 9	富士	ユニケルパワータイサンボルシェ	谷口 信輝/D. ファーンバッハー	ボルシェ911 GT3

■2008年

81(87)	Rd. 1	鈴鹿	ORC雨宮SGC-7	井入 宏之/折目 遼	RX-7
82(88)	Rd. 4	セパン	WOODONE ADVAN Clarion GT-R	J.P. テオリベira/荒聖治	GT-R
83(89)	Rd. 7	もてぎ	ウェッズスポーツIS350	織戸 学/阿部 翼	IS350
84(90)	Rd. 8	AP	ダイシン ADVAN Z	青木 孝行/藤井 誠輔	フェアレディZ
85(91)	Rd. 9	富士	ユニケルパワータイサンボルシェ	谷口 信輝/D. ファーンバッハー	ボルシェ911 GT3

■2009年 [GT300クラス・ドライバーズチャンピオン] 織戸 学/片岡 龍也

86(92)	Rd. 1	岡山	HIS ADVAN KONDO GT-R	J.P. テオリベira/荒聖治	GT-R
87(93)			ウェッズスポーツIS350	織戸 学/片岡 龍也	IS350
88(94)	Rd. 4	セパン	I. M. JIHAN COLTD・APPLE-Shiden	加藤 寛規/吉本 大樹	紫電
89(95)	Rd. 6	鈴鹿	エスロード MOLA Z	星野 一樹/柳田 真孝	フェアレディZ
90(96)	Rd. 7	富士	ダイシン アドバン Ferrari	青木 孝行/藤井 誠輔	フェラーリF430
91(97)	Rd. 8	AP	JIMGAINER ADVAN F430	田中 哲也/平中 克幸	フェラーリF430
92(98)	Rd. 9	もてぎ	ダイシン アドバン Ferrari	青木 孝行/藤井 誠輔	フェラーリF430

■2010年

93(99)	Rd. 1	鈴鹿	HIS ADVAN KONDO GT-R	J.P. テオリベira/安田 裕信	GT-R
94(100)			M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝/折目 遼	RX-7
95(101)	Rd. 2	岡山	アプスタート MOLA Z	横溝 直輝/阿部 翼	フェアレディZ
96(102)	Rd. 4	セパン	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝/折目 遼	RX-7
97(103)	Rd. 5	SUGO	アップル・K-ONE・紫電	加藤 寛規/濱口 弘	紫電
98(104)	Rd. 6	鈴鹿	R&D SPORT LEGACY B4	山野 哲也/佐々木 孝太	レガシイB4

SUPER GTに改められた2005年、最初の勝利を飾ったのがECLIPSE ADVAN スーパーだった。



ECLIPSE ADVAN スーパー